

国際ソロプチミストは（私たちは）、管理職、専門職に就いている女性の世界的組織で、人権と女性の地位を高める奉仕活動をしています。世界125の国と地域に3,000以上のクラブがあり、9万人余の会員が女性のために変化をもたらす奉仕活動を行っています。



SOROPTIMIST

Best for Women

\*ロゴマークがかわりました。女性と女兒をサポートする団体のイメージを表しています。

- 発行  
2005年6月
- 発行所  
国際ソロプチミスト沖縄  
〒900-0015  
那覇市久茂地2-10-20-301号
- 発行責任者  
普天間 初子

# 新春交流会

～琉装で華やかに～

国際ソロプチミスト沖縄恒例の「新春交流会」が1月26日(月)夕刻、料亭松乃下で行われました。

例年と趣向を変えて、琉装にウチナーカラジでの宴会は、さながら首里王府時代の往事を思わせる雰囲気となりました。

玉城流翔節会 玉城節子家元のお世話によるものでしたが、琉装の時間がとれない人は、各自の持っている紅型を身につけての参加となり、連盟のルネッサンスキャンペーン「女性や女兒そして全ての人々の生活向上のために」努力することを誓いつつ、食事よし、会場よしの楽しいつどいとなりました。



ヤマト嫁さんも今ではうみないび姿がお似合い



いつもユーモアの人だーれ



はなやかな会場



晩餐会にて情緒あふれる長崎のアトラクション



ホテル近くのオランダ坂を散歩

南リジョン大会参加

## 国際ソロプチミストアメリカ

第19回日本南リジョン大会長崎にて

4月14日～15日の2日間、長崎市において第19回南リジョン大会が開催されました。SI沖縄からも12人が参加しました。

たくさん勉強して来ましたが、2日目の分科会の中から第一奉仕プログラム委員会とメンバーシップ委員会の報告をお願いしました。

(2ページに掲載)







副委員長  
大城 光代

## 認証30周年記念事業 実行委員会便り (号外)

1975年10月25日、翁長君代会長のもと、会員30名でスタートした「国際ソロプチミスト沖縄」。間もなく30才の誕生日を迎えます。

昨年末から全会員が、歳入事業部会、式典・祝宴部会、記念事業部会のいずれかに属し、記念行事の準備をしてきました。

記念事業の一つ、那覇空港ターミナル到着ロビーへのエンブレム設置は既に作業を終え、観光客や旅から帰った県民を歓迎しています。

鵬雲斎 千 玄室大宗匠の講演会は目前に迫っています。いただいたプロフィールには書かれていませんが、大宗匠は、

私の亡夫と同じく昭和18年10月の学徒動員で海軍第14期飛行予備学生になった3323名(戦没411名、うち特攻戦死163名)のお一人で、同期の沖縄戦での戦死者は180名(うち179名は平和の礎に刻名)を数えます。今年には戦後60年の節目で、亡き戦友の慰霊のために平和の礎で献茶をなさるほか、慶良間沖で海上慰霊祭もなされます。「平和のために祈ろう」のご講演を、謹んで拝聴したいと思います。

登下校時の子供達の安全を願って(社)沖縄県青少年育成県民会議に贈呈する防犯パトカーは、車の購入手続きに入りました。ドメスティックバイオレンス被害者支援基金設立も、ベンチャークラブの皆さんの協力を得て、立ち上げるめどができました。心をこめた式典・手作りの祝宴の準備も着々と進んでいます。

会員の皆様には、それぞれの部会における活動のほか、毎月積立金など経済的負担をお願いしていますが、「女性と女兒のために」と連盟プロジェクトにも沿うこれらの記念事業達成に向けて、一層のご協力をお願いいたします。

## 南リジョン大会参加報告

### メンバーシップ 分科会

委員長 新城 伸子

第19回日本南リジョン大会、メンバーシップ分科会では82クラブ121名の参加の下、各クラブの活動についてのディスカッションと木原和子会員の卓話がありました。

各クラブ共通の思いとして、会員増強の難しさです。候補者はいるが、入会までに至らない。又若年会員を勧誘したいが、子育て、年会費の問題でこれまた実現しにくい面があり、現状では、会員維持が精一杯だというクラブが多いようです。

それから各クラブとも世代交代をスムーズに行うためにも、ベンチャー会員をソロプチミスト会員に迎えたいが、なかなかこれも難しいということでした。

そこで沖縄クラブで行っている会費・その他についての特別待遇を考慮した「ベンチャーOG入会についての申合せ」について、参考にしたいので分科会でお話しをしてほしいとの依頼がありましたので、沖縄クラブとしてベンチャーで鍛えられた素晴らしい人材であるOG会員の皆さんを出来るだけ多く会員として迎えたいとの目標を達成する為に特別な申合せをつくった経緯を報告致しました。

(例会報告書より転載)

### 第1奉仕プログラム委員会 分科会

委員長 大城 光代

1 基調講演  
講師 長崎短期大学学長安部直樹氏 (内容省略)

2 研修  
①富田みどり 連盟理事  
2004年8月のメールを思い出してほしい。未だに2003年度の事業を引きずっている。クラブと連盟が一体となって、他の事業を切り捨てても、女性と女兒のためのプログラムに絞って活動すること。

来年度の事業計画をたてるについては、資料8ページのクラブ賞に応じるように計画すること。広報で意識啓発すること。

②島田暁美 連盟プログラム協議会メンバー  
ソロプチミストは女性と女兒の生活のための援助を組織する。後進国では80%は女性と子供が被害者。助けられるのは先進国の女性。クラブ員自身が世界的な奉仕をしていることを知らない。

資料8ページのワッペンを貰うために申告してほしい。WOA(女性に機会を与える賞)は、全クラブ100%応募を目指している。是非応募すること。夫がいても寝たきり等で妻が働いている人も該当。応募書類もシンプルになる、ユースフォーラムも、参加するとプロジェクトをしたことになる。

## 国連ハビタット活動紹介と子供達の絵画展開かれる

2月3日から10日迄、国連ハビタット活動の紹介と子供達(ベトナムやアフガニスタンその他)の絵画展が那覇市の琉球銀行与儀支店ロビーにて開催されました。

国連ハビタット(HABITAT)とは、国連の機関「国連人間居住センター」の通称で、SI沖縄の上部組織の国際ソロプチミストアメリカ日本南リジョンでは、難民救済募金の一部を国連ハビタットへ寄付し、主にアフガニスタンの復興を支援してきました。

今回の子供達の絵画展では、子供達がうれしそうに井戸からポンプで水を汲みあげる絵とか、お母さん達が水辺で洗濯をしている絵、そして、緑に囲まれた村の絵等々、明るくて力強いタッチの絵の数々で子供らしい躍動感に溢れていました。

銀行のロビーでは訪れた地域の方々が熱心に見入っていて、近隣の教育施設にお勤めの方からは深い感銘を受けたとの感

想も聞かれました。このような地道な活動を初めて知ったとの声に、これからも機会をとらえ、一般の方々に知っていただく事も、大切な活動の一つと認識する良い催しともなりました。



## 活動報告

### エイズに関しては結構ヤバイ沖縄です —上原真理子医師の卓話より—



上原真理子医師

4月15日の例会では、中央保健所の上原真理子医師のエイズとノロウイルスに関する卓話がありました。

エイズについては  
1) 沖縄の人口あたりの感染者・患者がとても多い。  
2) 年々加速的に増え続けている。つまり15年~17年と年を追う毎に患者は増加している(今年はずでに9名)。

3) HIV(エイズウイルス)に感染していることに自分でも気づいていない感染者がいっぱいいる可能性が考えられる。

沖縄県では、他府県に比してAIDSの発症により発見される人数がダントツに多いとのこと。又若年化していることに危機感を持っていますとお話は続き、今やエイズは決して特殊な人だけではなく一般の人にもじわりと蔓延しつつあることを知っていただきたいと述べておられました。

また、冬に保育園や老人ホーム等の集団生活施設で発生したノロウイルス感染症(消化器系症状や風邪様の症状を呈する)の予防には、おう吐物の処置や排便後の正しい手洗いを徹底するようにとのお話もお聞きしましたが、各自の健康を維持するためには、正確な医療情報がますます重要になってくると考えさせられた卓話でした。

### 恒例の仁愛ボランティアに12名参加

平成16年11月30日(火)玉城村在の仁愛療護園にて「おむつ作り」のボランティアを致しました。

参加者は、普天間初子会長、第二奉仕プログラム委員会委員長の又吉博子会員外11名。渡名喜よし子会員の友人も参加していただきました。



## ベンチャークラブ活動紹介

高良美寿代会長を中心に熱心に活動を展開し、国際ソロプチミスト沖縄とも、良好な関係を保っているベンチャークラブ。その活動の一部を紹介します。

### 1、「紅茶に親しむ」つどい

沖縄市で紅茶コーディネーターとして活躍の今本智子先生を講師にお招きし、紅茶の楽しみ方を学びました。先生はスリランカで紅茶の栽培から製法まで体験してこれ、気候風土から沖縄でも出来るかと判断なされ、居を移して、沖縄で紅茶を、栽培からすべてやっておられます。

紅茶を介して、家族や友達、親しい人達との団らんを持つことが出来る。そしていっそう絆が深くなるということでした。



紅茶に親しむ

2、「きれいな古着をおくろう！」  
ベンチャー会員の大田由起子さんがソロプチミスト例会で協力の呼びかけをしました。たくさんの方々の協力があり、5月末日梱包を完了し、「NPO日本救援衣料センター」を通して、世界の難民や災害被災者などへ発送の準備をしているところです。

例会にて  
大田由起子さん

### 3、「ベンチャークラブ認証記念日4月24日」

那覇新都心のパンの店「かびらや」にて行われました。DV加害者対策研究会会長の又吉博子先生による「DV(ドメスティックバイオレンス)について」のご講話の後、イタリア料理をいただきながら交流を深めました。ソロプチミストからも大勢の参加がありました。尚、沖縄ベンチャークラブには3人の新入会員がありました。(奥村さん、大兼久さん、具志さん)



ベンチャークラブ認承式





青い窓

海

城西小五年 翁 長 笑 里

「ザザーン、ザザーン」  
なみがおしゃべりしている  
「ザザーン、ザザーン」  
また、強くなつてきた  
なんて、しゃべっているのだろうか  
私にもきかせてほしい  
「ザザーン、ザザーン」  
南の海は、あたたかいつて  
北の海は、さむいつて  
「ザザーン、ザザーン」  
なにを、しゃべっているのだろうか

※「波さんがおしゃべりしている」よ  
うに見えた笑里さんのやさしい心が「南  
の海はあたたかい」と聞けたんだね。

今回は、城西小学校の翁長笑里さん  
に登場してもらいました。仲地末子校  
長先生、御指導の担任の先生方、ご協  
力有り難うございました。

(編集部より)

新入会員紹介



元ベンチャークラブ  
アメリカプレジデント 崎原末子さん

生年月日 1963年10月10日  
勤務先 株式会社琉球新報開発  
新聞関連事業

抱 負 たくさんの先輩方のご指導を自分の成長に役  
立てたいと思っています。

崎原さんは、昨年までベンチャークラブア  
メリカプレジデントとして重要な任務を担っ  
ていました。若くて情熱の人を迎えて私達ソ  
ロプチミストの活性化に大きく貢献すること  
でしょう。すでに30周年記念事業の取り組み  
に彼女のアイデアとパワーを発揮してもらっ  
ています。

国際ソロプチミスト沖縄  
認証30周年記念文化講演会

講師 千 玄室大宗匠  
演 題 「平和のために祈ろう」

プロフィール

鵬雲斎千玄室(裏千家前家元)は、14代淡々斎  
宗室の嫡子。裏千家今日庵主として宗室を襲  
名。平成14年12月、嫡子に家元を継承し、千  
玄室に改名。国際的な広い視野で、茶道文化の浸透・発展と世界平  
和をはかり、世界62カ国を250回以上歴訪し、「一盃からピースフ  
ルネスを」を提唱される。現在、社団法人茶道裏千家淡交会理事長、  
国際機関沖縄誘致推進センター顧問にも就任。

受章関係では、紫綬褒章、藍綬褒章、文化功労者国家顕彰、勲二等  
旭日重光章、文化勲章を受章。海外でもレジオン・ドヌール勲章オ  
フィシェ(フランス)など、茶道文化による国際文化交流・親善に寄  
与した功労で各国より多数受章したほか、世界の多くの都市の名  
誉州民、市民となっている。茶道界のトップリーダーとして、文化  
の継承に貢献するだけでなく常に日本の精神で世界の平和を願ひ  
広範囲な活動を行っている。

■2005年6月27日(月) 開演午後6時(開場午後5時)  
■那覇市民会館大ホール 入場料2,000円

編 集 後 記

平成十五、十六年の国際ソロ  
プチミスト沖縄広報を私達が担  
当して参りました。「女性と女児  
の生活の向上を支援する」とい  
う連盟使命の促進と、ホームペ  
ージ開設をめざして、バトン  
を次期委員にお渡しします。



左より宮里、喜舎場、福里